



知識と備え
保存版
すぐに取り出せる所に
保管してください

ため池

ハザードマップ

避難地図⑤



ため池ハザードマップについて

近年、集中豪雨が頻発する傾向にあり、これに伴い土砂災害も増加傾向にあります。東日本大震災では、ため池決壊により尊い人命が失われるとともに、住宅や農地などで被害が発生しています。日ごろから、災害に備え心がけをし、人命・財産を守るために、また安全な避難のために役立ててください。



令和4年(2022年)3月作成

災害への備えをしよう

1 避難場所の確認 災害が起こったときを想定して、家族で避難場所の確認をしましょう。

避難場所
集合場所

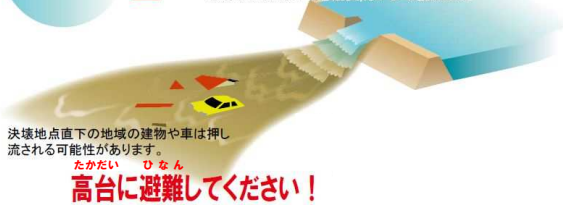
2 持ち出し品の確認 平時に持ち出し品の確認をしておきましょう。

<input type="checkbox"/> 現金(小銭も一緒に)	<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 健康保険証
<input type="checkbox"/> 運転免許証	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	<input type="checkbox"/> 救急箱	<input type="checkbox"/> 炬方箋の控え	<input type="checkbox"/> 常備薬
<input type="checkbox"/> ライター・マッチ	<input type="checkbox"/> 食品(乾パン等)	<input type="checkbox"/> 缶切り	<input type="checkbox"/> 衣類・下着
<input type="checkbox"/> 防寒具・雨具	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> タオル・洗面用具
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉	<input type="checkbox"/> 手袋・軍手	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 生理用品
その他必要なもの ()			

3 日頃の確認 災害時に必要と考えたことを記録しておきましょう。

(例) 近所の〇〇さんは避難のときに支援が必要、避難のときに火の始末やガス栓の確認をする。

- 1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水
・・・亀裂や堤防前面の滑落など
- 2 大雨等でため池の水位低下が困難
・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など



市からの避難情報に注意しよう!

●避難情報には、緊急度に応じて5つの種類があります。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保 ^{※1}
～警戒レベル4までに必ず避難!～			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 ^(注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者は避難 ^{※2}	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
 (注) 避難指示は、令和3年の災害対策基本法改正以前の避難指示のタイミングで発令する

佐賀市防災総合メール「さがんメール」

さがんメールは佐賀市の防災/防犯/緊急/火災/生活/市立小中学校など各種情報を、登録していただいたスマートフォン等にメールでお知らせするサービスです。佐賀市のLINE公式アカウントでも、さがんメール情報(学校情報、消防団員向け情報を除く)の配信を行っています。

<http://sbss.jp> ヘスマートフォン等でアクセスし、登録できます。



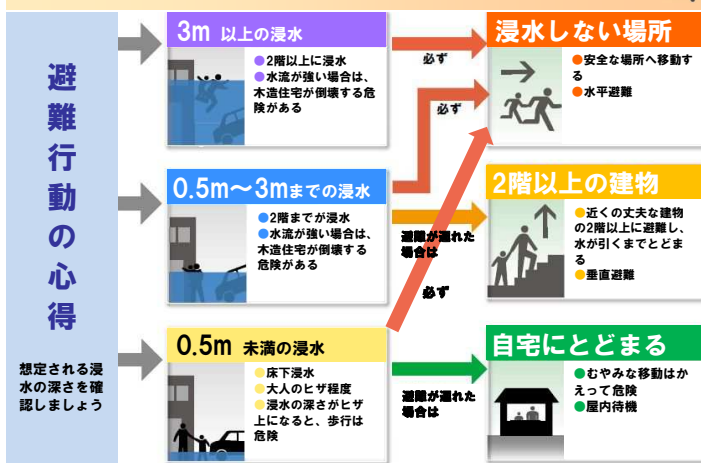
さがんメール登録



佐賀市LINE登録

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

避難情報がだされたら速やかに避難しよう



～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください

- 動きやすい服装で。
- 荷物は最小限。
- 足元注意。



- 避難するときは、近所の人造と声を掛け合い一緒に避難しましょう。
- できるだけ明るいうちに避難しましょう。

地震のあと

被災状況(防災無線の故障、広報車の通行不可、停電等)により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。

⚠ 災害発生時の避難情報入手における注意点

大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。